

東京プログラム ※10月14日現在の公開情報（下線は今回情報を更新するプログラム）

2016年10月20日（木）

- 13:00- 14:45 **スポーツセッション**
ラグビーの魅力・ラグビーワールドカップの力
・ラグビーの魅力アジア等の国々へ伝承
・ラグビーワールドカップ開催がもたらす国内外の社会的・経済的な発展の可能性
- 15:00- 17:00 **東京プレナリー**
・基調講演
・官民パネル
- 17:00- 17:30 **文化イベント**
・The Land of the Rising Sun
- 17:30- 20:00 **公式夕食会**

2016年10月21日（金）

- 10:00 - 12:00 **スポーツセッション**
オリンピック・パラリンピックがもたらすレガシー
・東京大会において、残すべきレガシー
- 13:00 - 17:00 **スポーツ大臣会合**
Sport for Tomorrow
・開発と平和のためのスポーツ
・万人のスポーツへのアクセス
・スポーツ・インテグリティの保護
- 09:00- 17:00 **官民ワークショップ**
・世界経済フォーラムと連携し、世界の未来を議論
- 10:00- 22:00 **文化会議 分科会**
ここから-アート・デザイン・障害を考える3日間（展示） ※23日（日）まで
・障害のある方による優れた芸術作品や、障害のある方のための優れた取組等を紹介
- 13:00- 16:00 **文化芸術活動を通じた多様性を尊重する社会の実現に向けて**
・障害のある方々による芸術活動や障害のある方々に関わる活動をテーマとしたシンポジウム
- 18:30-22:00 **ユースプログラム**
次世代共創シンポジウム
・2020年、そしてその先の未来に向かう次世代リーダー発のアイデアを国内外に提案
- 19:00-20:00 **文化イベント**
ディヴァイン・ダンス 三番叟 ～神秘域（かみひそみいき）～

2016年10月22日（土）

- 9:00-12:00 **日本文化体験プログラム**
- 10:00-13:00 **文化会議 分科会**
バリアフリー映画上映会
・障害の有無にかかわらずあらゆる人々が共に楽しむことができる映画上映会

※敬称略

スポーツセッション

ラグビーの魅力・ラグビーワールドカップの力

アジア初のラグビーワールドカップの開催国として、ラグビーの魅力をアジア等の国々へ伝承し、ラグビーの普及促進及びラグビーワールドカップの開催がもたらす国内外の社会的・経済的な発展の可能性等について議論を行います。

日時 10月20日(木)13:00～14:45

会場 グランドハイアット東京 コリアンダー

言語 日英同時通訳

登壇者

- ・ビル・ボーモント ワールドラグビー会長
- ・岡村 正 日本ラグビーフットボール協会会長
- ・御手洗 富士夫 ラグビーワールドカップ2019組織委員会会長
- ・アラン・ギルピン ラグビーワールドカップ総括責任者
- ・山本 巧 日本ラグビーフットボール協会理事
- ・アガ・フセイン アジアラグビー副会長
- ・徳増 浩司 アジアラグビー会長 等

東京プレナリー

挨拶・基調講演

京都での成果を引継ぎ、東京での開会を宣言します。引き続いてスポーツ界、経済界の代表から基調講演をいただきます。

官民パネル

民間企業経営者が文部科学大臣とともに、ステージ上で本フォーラムへの期待や2020年そしてその先の日本の姿についてパネルディスカッションを行います。

日時 10月20日(木)15:00～17:00

会場 グランドハイアット東京 グランドボールルーム

言語 日英同時通訳

登壇者

《挨拶・基調講演》

- ・森 喜朗 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長
- ・トーマス・バッハ 国際オリンピック委員会(IOC)会長
- ・フィリップ・クレイブン 国際パラリンピック委員会(IPC)会長
- ・ビル・ボーモント ワールドラグビー会長
- ・クラウス・シュワブ 世界経済フォーラム創設者・会長 等

《官民パネル》

- ・松野 博一 文部科学大臣
- ・片野坂 真哉 ANAホールディングス株式会社 代表取締役社長
- ・櫻田 謙悟 SOMPOホールディングス株式会社 グループCEO 取締役社長
- ・遠藤 信博 日本電気株式会社(NEC) 代表取締役会長
- ・根岸 秋男 明治安田生命保険相互会社 取締役代表執行役社長
- ・辻 慎吾 森ビル株式会社 代表取締役社長

文化イベント

The Land of the Rising Sun

日本人が何を大切にしてきたかを、ジャンルを越えた気鋭のクリエイター陣と、古典から現代までの多様な才能のキャストが集まり、ショーにしました。

何度も自然災害を受けながらも、受け継がれてきた自然との美しい共存。四季から生まれた文化芸術。日本誕生以来、時代は止まることなく、江戸への遷都、そして現代の東京へ。崩壊と創造を繰り返してきた逞しさと、それによって生まれた人への優しさを、古代から未来へと繋げます。

【キャスト】

歌舞伎俳優 十一代目 市川海老蔵、ソプラノ 森麻季、BLUE TOKYO、WRECKING CREW ORCHESTRA / EL SQUAD他

【スタッフ】

演出家 宮本亜門、映像演出 チームラボ、江戸部分ヴィジュアル協力 蜷川実花、舞台美術 松井るみ、平山正太郎、音楽 山下康介、音楽 福岡ユタカ、音楽 TeddyLoid、衣裳 太田雅公、スタイリスト 長瀬哲朗、ヘアー ABE(MO)、メイクアップ yUKI(MO)、着装コーディネーター(一部和装) 笹島寿美、振付 KAORlalive(Memorable Moment)、振付 麻咲梨乃、書 紫舟、映像協力 東市篤憲(A4A)、初音ミク クリプトン・フューチャー・メディア株式会社、映像技術 新谷暢之、石堂智之(株式会社プリズム)、照明 藤本晴美、相良浩司、大柿光久、岡井奈緒(株式会社MGS照明設計事務所)、音響 鈴木宏(sound craft LIVE DESIGN)、美術施工 鳶寿、造形小道具製作 福田秋生(ゼペット)、特殊効果 緒方宏幸(有限会社インパクト)、舞台監督 瀧原寿子、演出助手 福原麻衣、企画制作 松堂今日太(株式会社WM)、制作 奥山奈央子、河野有美(Amano Creative Studio Inc.)、プロデュース 天野舞子(Amano Creative Studio Inc.)

日時	10月20日(木)17:00～17:30
会場	グランドハイアット東京 グランドボールルーム
言語	英語
登壇者	【スタッフ/出演者等】 ・宮本 亜門 演出家 ・チームラボ 映像演出 ・蜷川 実花 写真家、映画監督 ・十一代目 市川 海老蔵 歌舞伎俳優 ・鈴木 亮平 俳優 ・森 麻季 ソプラノ

(登壇者情報更新(下線:更新情報))**スポーツセッション****オリンピック・パラリンピックがもたらすレガシー**

ロンドンからリオ、東京へ、そしてその先へ。伝えられるレガシーは何か。未来へ伝えるべきレガシーは何か。2020年に向けて、我々はどのようなアクションを起こすべきか。「アスリート・ファースト」を掲げる東京大会において、様々なレガシーの中でも特にスポーツ分野に重点を置き、どのようなレガシーを残すべきかを考えます。

日時 10月21日(金)10:00～12:00

会場 グランドハイアット東京 グランドボールルーム

言語 日英同時通訳

登壇者

- ・遠藤 利明 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事
- ・小池 百合子 東京都知事
- ・武藤 敏郎 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会事務総長
- ・室伏 広治 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会スポーツディレクター
- ・ユー・ツァイチン 国際オリンピック委員会(IOC)副会長
- ・リタ・バン・ドリエル 国際パラリンピック委員会(IPC)委員
- ・小谷 実可子 オリンピック
- ・田口 亜希 パラリンピアン
- 他 オリンピック・パラリンピック関係者

(登壇者情報更新(下線:更新情報))**スポーツ大臣会合****Sport for Tomorrow**

多くの国際会議で「開発と平和のためのスポーツ」「スポーツ・フォー・オール」「スポーツのインテグリティ保護」が注目される中、日本ではスポーツを通じた国際貢献としてSport for Tomorrowをはじめとした様々な取組を実践しています。ユネスコ主催の体育・スポーツ担当大臣等国際会議(MINEPS)をはじめ、様々な国際的な場でスポーツの議論が活発化する中、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催国である日本から「スポーツの力」を発信することにより、2013年のMINEPS-Vで採択された、ベルリン宣言等のフォローアップを行い、今後の議論へと繋げていきます。

日時 10月21日(金)13:00～17:00

会場 グランドハイアット東京 グランドボールルーム

言語 日・英・仏 同時通訳

登壇者

- ・松野 博一 文部科学大臣
- ・鈴木 大地 スポーツ庁長官
- ・ウィルフリード・レムケ UNOSDP国連事務総長特別顧問
- ・セルミヤン・ウン IOC理事
- ・クレイグ・リーディ WADA会長、IOC委員
- 他 各国スポーツ大臣

(登壇者情報等更新(下線:更新情報))

官民ワークショップ

ダボス会議を主催する世界経済フォーラムと日本政府が連携し、新たなライフスタイル、健康長寿社会へのアプローチ、若年世代の新たな価値観、過去のトレンドからは到底予想できない破壊的技術革新などをテーマに、約25のセッションにリーダーが集い、世界の未来を議論します。

世界経済フォーラムのコミュニティに属するグローバル企業経営者、ヤング・グローバル・リーダーズ、テクノロジーパイオニアなど、60を超える国々からビジネス、政府、市民社会を代表するリーダーが300名以上参加し、日本からの参加者と併せて600名以上が集います。

【官民ワークショップにおける議論とは】

- ー2020年に向けて日本が世界をリードするために、取り組むべきことは何か
- ー世界的に消費者の行動やニーズを変えつつある新たなデジタルプラットフォーム、文化、ライフスタイルなどに、いかに適応していくか
- ークリエイティブインダストリーの変容から何を学ぶことができるか
- ーソフトパワーに基づく新しい経済・文化のエコシステムがもたらす可能性とは何か
- ー最先端の再生医療やロボット技術が、いかにして社会実装されるべきか
- ー長寿社会における財政、労働、金融、新産業などは、いかなる変化を起こすか
- ースポーツ産業と他産業との融合は、どのようなビジネス機会の創出につながるか

日時	10月21日(金)9:00～17:00
----	---------------------

会場	六本木アカデミーヒルズ
----	-------------

言語	日英同時通訳
----	--------

※官民ワークショップ日本政府リードセッション及び世界経済フォーラムリードセッションの概要、登壇者等の詳細については次ページ以降を御覧ください。(世界経済フォーラムフォーラムリードセッションの概要、登壇者等の詳細更新)

※官民ワークショップ スケジュールについては別紙5を御覧ください。

＜官民ワークショップ(日本政府リードセッション詳細)＞

◎はモデレーター

新しい観光

スポーツ・文化の”体験”による新しい観光の実現を考える

現在、日本のインバウンドは過去経験のないペースで成長しているが、一方でグローバルな課題でもある、都市・地方での消費格差や移動・宿泊キャパシティの不足などの懸念も存在する。本セッションでは、2019年以降、多くの国際スポーツ大会が開催される日本をグローバルモデルケースとし、スポーツ・文化をきっかけとした、持続可能な「新しい観光」と、経済成長のあり方を討議し、そのために必要な官民連携の加速化や各プレーヤーに求められる役割、共創のあり方についても議論する。

※Knowledgeパートナー：マッキンゼー・アンド・カンパニー

パートナー企業

ANAホールディングス(株)

登壇者

- ・片野坂 真哉 ANAホールディングス株式会社代表取締役社長
- ・田村 明比古 観光庁長官
- ・デービッド・アトキンソン 小西美術工藝社代表取締役社長
- ・丸山 真紀 日本文化伝道師
- ・上原 大祐 NPO法人D-SHIP32理事長
- ◎ 桑原 祐 マッキンゼーアンドカンパニーパートナー 等

技術革新による、豊かな高齢社会実現に向けて

超高齢社会の介護分野において、ICT・ロボットの積極活用で何が実現できるのか

超高齢社会を迎える日本において、将来あるべき高齢者介護・生活支援とは何かを提議し、その解決の一つとして重要なテーマとなってくるICT・ロボットの活用方策を探る。今後、世界的な課題となる超高齢社会を先取りし、介護分野におけるICT・ロボットの技術革新をベースとした取組みにより何が実現できるのか、人とICT・ロボットが“共存”することで、高齢者・介護スタッフともに幸せになれる、理想の介護の未来、超高齢社会について、議論・情報発信を行う。

パートナー企業

SOMPOホールディングス(株)

登壇者

- ・奥村 幹夫 SOMPOホールディングス株式会社取締役執行役員(介護・ヘルスケア事業オーナー)、SOMPOケア株式会社代表取締役社長
- ・玉置 章文 トヨタ自動車株式会社パートナーロボット部長
- ・斉藤 裕之 パナソニック株式会社エコソリューションズ社エイジフリービジネスユニット事業推進部部長
- ◎ 小谷 真生子 経済報道キャスター

2020年以降のレガシーに向けたパブリックセーフティ

ICTを活用していかに安全安心な社会を実現するか？その可能性を探る

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。それは誰にとっても「安全」「安心」という価値が実現された社会である。2020年に向けて様々な国際イベントの開催が予定され、世界中から人が集まる日本で、各関係機関が連携して「安全」「安心」を守るためにはどのような社会インフラが必要だろうか。世界中に頻発するテロを未然に防ぎ、災害時は人命を守り、会場内の異常を検知する等、ICTを活用していかに安全安心な社会を実現するか。その可能性を探る。

パートナー企業

日本電気(株)

登壇者

- ・遠藤 信博 日本電気株式会社(NEC)代表取締役会長
- ・米村 敏朗 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事・チーフ セキュリティオフィサー
- ・中谷 昇 国際刑事警察機構総局長
- ◎ ロバート・マガー イガラペー・インスティテュート リサーチ・ディレクター
- ・ニック・ゴーイング 国際ニュースキャスター、キングス・カレッジ・ロンドン客員教授
- <ビデオメッセージ>
- ・丸川 珠代 東京オリンピック・パラリンピック大臣

<官民ワークショップ(日本政府リードセッション詳細)> ◎はモデレーター

スポーツが育む“地元愛” 企業にできることは

住民の地元への愛情と誇りが地域を活性化させる。スポーツと企業が貢献できることは？

都市と地方との格差という社会課題に対し、企業はどのような解決策を講じることができるだろうか。企業がスポーツへの協賛を通じて、地域経済の活性化、地域を担う人材の育成、新たな産業創造などに寄与することができるのかを、企業、スポーツ団体、地方自治体、アスリートなど、さまざまな視点で議論する。

パートナー企業 明治安田生命保険(相)

登壇者

- ・根岸 秋男 明治安田生命保険相互会社取締役 代表執行役社長
- ・馳 浩 前文部科学大臣、衆議院議員
- ・村井 満 日本プロサッカーリーグチェアマン
- ・ロス・フィンドレー 株式会社NAC代表取締役
- ・杉山 愛 元プロテニスプレイヤー
- ◎ 石倉 洋子 一橋大学名誉教授

Future Tokyo as Innovative City

20年後、私達はどのように生きるのか？未来の東京とライフスタイルを描く

グローバルな都市間競争の中で、イノベーションを起こし続け、新しいライフスタイルを生み出す魅力ある都市、それが “Innovative City”。その “Innovative City” には、「テクノロジー」「アート」「都市空間」の三要素が重要である。いま私たちはインダストリー4.0など、テクノロジーや価値観の大きな変革、進化の波を迎えつつある。20年後の東京を舞台に、“Innovative City” を議論する。

パートナー企業 森ビル(株)

登壇者

- ・南條 史生 森美術館館長
- ・市川 宏雄 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科長・教授
- ・伊藤 穰一 マサチューセッツ工科大学メディアラボ所長
- ・ネリ・オックスマン マサチューセッツ工科大学メディアラボメディアアート・サイエンス学部准教授
- ◎ 竹中 平蔵 東洋大学教授、慶應義塾大学名誉教授

サーキュラーエコノミーがもたらす経済成長

地方創生実現への切り札

製品、ノウハウ、人材、設備等、企業が持つ、あらゆる資産をフルに「稼働」させて収益成長を図るサーキュラーエコノミーの考え方は、地域経済の成長を通じた地方創生の起爆剤になりうる。そのためには地域の中の産学官のそれぞれが持つ資産の相互活用を可能とするエコシステム、リキッド・ワークフォース(適時適材適所)を実現する新たな雇用形態、IoTを含むデジタルテクノロジーのプラットフォーム等がカギとなる。課題と解決のアプローチについて世界の具体例を引き、議論する。

パートナー企業 アクセンチュア(株)

登壇者

- ・山本 幸三 内閣府特命担当大臣(地方創生、規制改革)
- ・セシル・ヴァン・オッペン Copper8 共同創設者
- ・川鍋 一郎 日本交通株式会社代表取締役会長
- ・藤沢 烈 RCF代表理事
- ◎ ピーター・レイシー アクセンチュア・ストラテジー サステナビリティサービスグループ グローバル・マネジング・ディレクター

＜官民ワークショップ（日本政府リードセッション詳細）＞ ◎はモデレーター

日本のポップカルチャーの可能性: Beyond Cool Japan

グローバル社会での新たなコミュニケーション手段

日本のポップカルチャーの進化と、コミュニケーションツールとしての世界でのポテンシャルについて、アニメ・デザイン・ファッションの各分野を牽引する専門家たちが議論する。

パートナー企業 (株)アサツー ディ・ケイ

登壇者

- ・宮河 恭夫 株式会社サンライズ代表取締役社長、株式会社バンダイナムコピクチャーズ代表取締役社長
- ・齋藤 精一 株式会社ライゾマティクスクリエイティブディレクター、テクニカルディレクター
- ・ミーシャ・ジャネット ファッションジャーナリスト、スタイリスト
- ◎ 梅澤 高明 A.T. カーニー日本法人会長

2050年の食を考える

食の価値・楽しみを失うことなくサステナブルな食への解決策とは

2050年世界人口は90億人に達する。食料問題は世界規模で深刻化し、食料安定確保に向けて様々な解決策が議論されているが、食べることは単に生命維持だけではなく、「健康維持・促進のための栄養確保」、「味わい人と楽しむ精神的満足」、「郷土料理や伝統食等の食文化」の視点でも大きな価値がある。つまり、食の危機は、文化の危機であり、人間の危機である。これら食の価値や楽しみを失うことなく、2050年90億人を支えるサステナブルな食卓への解決策とは？栄養バランス、生活の質の向上、食文化の観点から、未来食を考える。

パートナー企業 味の素(株)

登壇者

- ・西井 孝明 味の素株式会社代表取締役 取締役社長 最高経営責任者
- ・武見 ゆかり 特定非営利活動法人日本栄養改善学会理事長
- ・道傳 愛子 日本放送協会解説委員・チーフプロデューサー
- ◎ ジョン・クレブス卿 オックスフォード大学シーザスカレッジ前学長

エンタテインメントはデジタルでどのように進化するのか

デジタル革命によるエンタテインメントの進化と音楽の未来を考える

音楽をはじめとしたエンタテインメントを取巻く環境は、デジタルの進歩により著しく変化している。CDメディアからサブスクリプションサービスや動画投稿サービスなどへ音楽の聴き方が変わるとともに、ライブにおいてリアルな体験を求めることも主流となっている。

また、ライブもデジタルの進歩により、VRとAIを駆使した内容に変化し、より充実度の高いリアル体験が可能となってきた。そのような中、これからのエンタテインメントが進む方向と可能性について議論していきたい。

パートナー企業 エイベックス・グループ・ホールディングス(株)

登壇者

- ・松浦 勝人 エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社代表取締役社長CEO
- ・小室 哲哉 音楽家
- ・蜷川 実花 写真家、映画監督
- ・ロブ・シュワルツ ビルボードマガジンアジア所長、音楽・映画プロデューサー
- ◎ 加治 慶光 アクセンチュア株式会社チーフ・マーケティング・イノベーター

＜官民ワークショップ（日本政府リードセッション詳細）＞ ◎はモデレーター

企業は、アスリートと国民の絆を結べるか？

企業とアスリートが直接つながり、WinWinの関係を構築できる新たな相互支援のあり方を考える
アスリートに対するスポンサーのあり方は、インターネットの発展によって大きく変わりつつある。個人とアスリートが直接つながる新たなITプラットフォームの台頭は、アスリートにどのような恩恵を与えるか。アスリートとスポンサーの関係は、ビジネスにどのような影響を与えるだろうか。

パートナー企業 (株)サイバード、(株)エイブル&パートナーズ、(株)アシックス

登壇者

- ・佐藤 茂 株式会社エイブル&パートナーズ代表取締役会長兼社長 CEO
- ・三屋 裕子 日本バスケットボール協会会長
- ・小寺 昇二 埼玉工業大学人間社会学部情報社会学科教授
- ・ケース・フェルフォーン アムステルダム応用科学大学教授・博士
- ・高橋 道和 スポーツ庁次長
- ◎ 堀 主知 ロバート 株式会社サイバード顧問

再生医療の将来

再生医療はどう社会に貢献できるのか？

日本が牽引する再生医療の切り札、iPS細胞の作製の論文が発表されてから今年で10年。2014年9月にiPS細胞由来の網膜移植手術が世界に先駆けて日本で執り行われたことは記憶に新しく、同年11月には再生医療の実用化を促進する法制度が整えられるなど、すでに日本は再生医療の実現と普及に向けて国を挙げた取り組みを行っている。今後実用化フェーズを迎える再生医療は実際にどのような形で社会に貢献することができるのか。再生医療がもたらす病気の治療、新薬の開発等、医療のブレークスルーについて考える。

パートナー企業 武田薬品工業(株)

登壇者

- ・出雲 正剛 武田薬品工業株式会社再生医療ユニットグローバルヘッド、日本サイエンティフィックアフェアーズヘッド
- ・澤 芳樹 大阪大学大学院医学系研究科長
- ・エレニ・アントニアドウ ヨーロッパ・ヘルス・パラメント理事長、ヤング・グローバル・リーダー
- ◎ 原 丈人 アライアンス・フォーラム財団代表理事、大阪大学大学院医学系研究科招聘教授、内閣府参与

テクノロジーは人間から何を奪うのか

人間とデジタルの再結合

高度テクノロジー社会において、コミュニケーションは生物間だけではなく、生物とコンピュータ、物と物すべてがIoTでつながり、劇的に変容して行く。バーチャルとリアリティはどこまで溶け合うのか。バーチャルの中に身体性は存在するのか。そして、精神や身体とテクノロジーの融合は実現可能なのか。武道、茶道、禅、侘び寂び等もヒントに、デジタルテクノロジー社会における「主体としての人間とは何か」を再考し、豊かなテクノロジー社会を築くためのブレークスルーを考える。”テクノロジーに人間を奪われない”ために。

パートナー企業 凸版印刷(株)

登壇者

- ・金子 真吾 凸版印刷株式会社代表取締役社長
- ・落合 陽一 筑波大学助教
- ・スプツニ子！ 現代美術家、マサチューセッツ工科大学メディアラボ助教
- ・野村 忠宏 柔道家
- ・カサンドラ・チュー セーフハーバーカウンセリングセンター創業者、心理療法士、ヤング・グローバル・リーダー
- ◎ 小川 和也 グランドデザイン株式会社代表取締役社長

<官民ワークショップ(日本政府リードセッション詳細)>

◎はモデレーター

金融ジェロントロジー

高齢者の活躍する社会が、健康寿命・資産寿命伸長への第一歩

生命寿命の伸張に合わせて、健康寿命も伸ばすことが重要である。加えて、加齢とともに金融資産も増えることから、長寿リスクに対応した資産寿命の確保も大切となる。それらを総合的に捉えるのが、金融ジェロントロジーである。本セッションでは、3つの寿命の伸張をめぐる課題について議論したい。

パートナー企業 野村ホールディングス(株)

登壇者

- ・岩崎 俊博 野村資本市場研究所社長、野村ホールディングス株式会社執行役、野村證券株式会社副社長
- ・武林 亨 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科委員長・教授(医学部衛生学公衆衛生学)
- ・レベッカ・ティン スイス再保険会社日本支店シニア・ヘルス・ソリューションズ・マネージャー・バイスプレジデント
- ◎ 清家 篤 慶應義塾塾長、博士(商学)

健康がお金を生む？

健康長寿社会の実現へ向け財政の支えなしに持続可能な仕組みづくりを考える

財政負担増という高齢社会のネガティブな面がある一方で、高齢社会は新たな産業を生み出すというポジティブな面もある。高齢社会の先頭を走る日本において、予防や健康管理をマネタイズする取り組みが始まっている。ビッグデータ分析や官民連携の視点から、持続可能な健康長寿社会の可能性を探りつつ、将来的に新たなヘルスケア産業が生まれ健康格差、富の格差が解消するという、世界経済の新たな成長と発展の形を議論する。

パートナー企業 (株)みずほフィナンシャルグループ

登壇者

- ・佐藤 康博 株式会社みずほフィナンシャルグループ取締役 執行役社長 グループCEO
- ・久野 譜也 筑波大学大学院人間総合科学研究科教授
- ・湯崎 英彦 広島県知事
- ・フィリップ・ヤン・フラック LOGEX社CEO、ヤング・グローバル・リーダー
- ・キーリー・スティーブンソン Weal Life社CEO、ヤング・グローバル・リーダー
- ◎ 飯田 香織 日本放送協会報道局経済部副部長

身体障がい個性となる未来 ～機能不全の克服～

ロボットスーツと再生医療の連携で、いかにによりよい未来を作れるか

歩く、走る、飛ぶ、止まる。座る、立つ、つかむ、投げる。人間は、基本的な身体動作ができなくなった時、それが奇跡的なバランスで機能していることを知る。その機能をいったん失っても、医療用ロボットスーツや義足などのバイオニックデザインと再生医療の連携や相互補完によって、再び、自分らしく生き生きと活躍できるKAITEKI社会の実現は近い。2025年をマイルストーンとした技術開発の方向性はどこに向かうだろうか。アカデミアからは、最先端技術と現在の課題を提示し、障がいをもつ方からは、イノベーションへの期待や社会に向けた提言を行う。科学技術政策や社会政策についても考える。

パートナー企業 (株)三菱ケミカルホールディングス

登壇者

- ・木曾 誠一 株式会社生命科学インスティテュート代表取締役社長
- ・山海 嘉之 科学技術振興機構 内閣府ImPACTプログラム プログラムマネージャー、筑波大学教授 サイバニクス研究センター長、CYBERDYNE株式会社代表取締役社長 CEO
- ・出澤 真理 東北大学大学院医学研究科細胞組織分野教授、医学博士
- ・マーク・ポロック マーク・ポロック財団コラボレーションカタリスト、冒険家、ヤング・グローバル・リーダー
- ◎ ・ヘイリー・ウォーレン ヘイロー・メディカル・デバイス創設者、ヤング・グローバル・リーダー
- ・御立 尚資 経済同友会副代表幹事

＜官民ワークショップ（日本政府リードセッション詳細）＞ ◎はモデレーター

Communi-TEA

日本の生活文化、思いをつなぐ緑茶

緑茶は、約1200年前に日本に伝来して以来、飲み方や製造方法を変化させながら、日本の生活の中に根づいてきた。食事と一緒に、休憩時に、そしてお客様のおもてなしに、緑茶はなくてはならない飲み物となっている。緑茶には「五感に響く素晴らしさ」がある。健康にも優れていて、世界のクリエイティブな方々に人気がある。お茶を淹れた後に残る茶殻の再利用（堆肥やエコプロダクト）やICTによるお茶の生産管理等、新しい視点が求められている。日本の生活文化でもある日本茶を世界に広げ、語り合い、思いをつなぎ合いたい。

パートナー企業 (株)伊藤園

登壇者 ◎

- ・本庄 大介 株式会社伊藤園代表取締役社長
- ・大角 亨 農林水産省大臣官房審議官
- ・槍田 真希子 日本経済新聞社映像報道部記者

東大寺1300年の歴史に見る持続可能な経営

継続すること、繋がること、そして、共に取り組むこと

日本文化の象徴であり、1300年もの長きにわたり機能し続ける日本最古の組織ともいえる東大寺。そこにはリーダーと人々の固い絆と熱い思い、そして希望があった。科学技術は発展してきており、人々の暮らしや働き方なども少しずつ変化している。これからの時代を生き残っていく組織、そしてリーダーに求められるものは何だろうか。「人間らしさ」に焦点を当てながら、幾多のリスクと対峙してきた東大寺から普遍的で持続可能な経営のヒントを探る。

パートナー企業 マーシュ・アンド・マクレナン・カンパニーズ

登壇者 ◎

- ・森本 公穰 東大寺庶務執事・塔頭清凉院住職
- ・平賀 暁 マーシュブローカージャパン株式会社代表取締役会長

(登壇者情報等更新)

<官民ワークショップ(世界経済フォーラムリードセッション詳細)> ◎はモデレーター

創造性を育む教育

世界経済フォーラムの「将来の労働力に関するレポート・2016年版」によれば、創造性は、第4次産業革命社会において、最も求められるスキルの一つに挙げられている。今後、活躍する人材に必要な創造性を育むために、いかなる教育モデルが必要となるか。

- | | |
|-----|---|
| 登壇者 | <ul style="list-style-type: none"> ・エリザベス・デーリー 南カリフォルニア大学映画芸術学部長 ・市来 健太郎 クリエイティブディレクター ・バブニート・シン Sandbox Partners社創業者・CEO ・エステバン・ブルリッチ アルゼンチン教育大臣 |
| ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ・ジェニファー・チュー・スコット Radian Partners社プリンシパル |

デザインでアクティブに:未来の都市生活

健康増進のための運動や社会活動への参加者を増やすことは、世界的な喫緊の課題である。将来に向けて、健康を増進する都市や健康な市民を増やしていくためには、行動規範や政策をどのようにデザインしていくべきか。

- | | |
|-----|--|
| 登壇者 | <ul style="list-style-type: none"> ・デイヴィッド・ハーツ ガストロモティーバ創業者・マネージングディレクター ・リサ・マッキラン Inspired Companies主任アドバイザー ・ファハド・ラシード キングアブドラエコノミックシティグループCEO・マネージングディレクター ・ヴァレリー・ケイシー デサイナーズ・アコード創業者・エグゼクティブディレクター |
| ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ・アムリタ・チーマ ドイチェ・ウェル |

プレッシャーに勝つ

厳しいプレッシャーの下、いかにベストコンディションを維持し、高いパフォーマンスをあげるかテーマに、トップアスリートたちが語り合う。

- | | |
|-----|--|
| 登壇者 | <ul style="list-style-type: none"> ・野村 忠宏 柔道家 ・岡田 武史 元サッカー日本代表監督 |
| ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ・宮嶋 泰子 テレビ朝日スポーツコメンテーター |

(登壇者情報等更新)

<官民ワークショップ(世界経済フォーラムリードセッション詳細)> ◎はモデレーター

共に生きる未来へ 社会を動かすスポーツの力

How can sport act as the engine of inclusivity and social change?

- | | |
|-----|--|
| 登壇者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ニアール・ダン BTグループサステイナビリティ最高責任者 ・遠藤 謙 株式会社Xiborg代表取締役 ・ロドリゴ・ヒュブナー・メンデス ロドリゴ・メンデス協会創業者・最高経営責任者 ・高橋 尚子 オリンピック金メダリスト、東京2020アスリート委員会委員長 |
| ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ・高雄 美紀 日本放送協会 |

合気道から学ぶ「道」の精神

ジャック・パイエ師範とともに、合気道のデモンストレーションを通じて、最も効果的に心身の強さを修得する方法を学ぶ。合気道とは、単なる運動技術習得だけでなく、その練習を通して、「人格の完成をはかり、社会に貢献する」という目標を持ち、精神と肉体を鍛錬するものである。

- | | |
|-----|---|
| 登壇者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ジャック・パイエ 無限塾代表、合気道養神館師範 ・下村 博文 自由民主党幹事長代行、衆議院議員 |
|-----|---|

レガシーを残す:メガ・スポーツ・イベント

オリンピック・パラリンピックやFIFAワールドカップなどの巨大なスポーツイベントを経て、都市はいかなるレガシーを残すべきか。

- | | |
|-----|--|
| 登壇者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ピーター・ジェニングス ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー ダウジャパンアンドコリア 代表取締役社長 ・ナヒード・ネンシ カナダ カルガリー市長 ・チョ・ユンソン 韓国文化体育観光部長官 |
| ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ・ルットフィー・シディッキー ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス理事・実務客員教授 |

(登壇者情報等更新)

<官民ワークショップ(世界経済フォーラムリードセッション詳細)> ◎はモデレーター

バーチャル世界と生きる

テクノロジーによる我々の健康や幸福の定義の変化は、不可避か。

登壇者	・松本 紹圭 お寺の未来理事、仏僧 ・アルバロ・フェルナンデス シャープブレインズ最高経営責任者・編集主幹 ・メイ・リン・ドエリー ミックス・テクノロジーズ社共同創設者
◎	・シェリル・マーティン 世界経済フォーラムマネージングボード、グローバルインダストリーズセンター長

デジタル世代の新たな人間関係

現代の若者が再定義する人間関係のあり方とは。

登壇者	・猪子 寿之 チームラボ代表 ・ジュリアナ・ロティッチ Brck.org,共同創設者兼エグゼクティブディレクター ・近藤 正晃 ジェームス 一橋大学客員教授 ・スブツニ子！ 現代美術家、マサチューセッツ工科大学メディアラボ助教
◎	・エイドリアン・モンク 世界経済フォーラム統括パブリック・エンゲージメント&ファウンデーションズ・執行委員会委員

スポーツ・エンターテインメントの未来

新しい技術が台頭することによって、スポーツ・エンターテインメントにどのような変化がもたらされるか。

登壇者	・秦 英之 ニールセンススポーツ代表取締役社長 ・稲蔭 正彦 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科付属メディアデザイン研究所長 ・アンドリヤナ・ツヴェトコビッチ 駐日マケドニア共和国大使館特命全権大使
◎	・飯田 香織 日本放送協会報道局経済部副部長

文化会議 分科会(展示)

ここから-アート・デザイン・障害を考える3日間

オリンピック憲章の「オリンピズムの根本原則」では、「オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するものである」とされています。これはアスリートだけでなく、すべての人に向けられた原則です。この根本原則に向けて、あらゆる人々が新たな意識で生きるための一歩を踏み出すことを目標に、展覧会を「ここから」と名付けました。この展覧会では、我が国における現時点での障害のある方による優れた芸術作品や障害のある方のための優れた取組等を紹介します。これらの作品との出会いにより、あらゆる人々にとって新たな意識、新たな「生き方の創造」につながっていくことを願っています。

入場料: 無料

日時	10月21日(金)～10月23日(日) 21日(金) 10:00～22:00 22日(土) 10:00～22:00 23日(日) 10:00～18:00
----	---

会場	国立新美術館 2階企画展示室
----	----------------

文化会議 分科会

文化芸術活動を通じた多様性を尊重する社会の実現に向けて

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、スポーツや文化芸術を通して、日本全体を盛り上げていく機運が高まる中、障害の有無にかかわらず、あらゆる人々が様々な場で文化芸術の創造・鑑賞活動に参加できる社会的包摂に係る取組を進めていくことが求められています。このため、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントとともに文化芸術による社会的包摂の取組を進めていくことにより、多様性を尊重する社会の実現、ひいては芸術文化のさらなる発展へとつながるよう、内外の有識者をお迎えし、障害のある方々による芸術活動や障害のある方々に関わる活動をテーマとしたシンポジウムを開催します。

日時	10月21日(金)13:00～16:00
----	----------------------

会場	国立新美術館 3階講堂
----	-------------

言語	日英同時通訳、手話通訳等あり
----	----------------

登壇者	・宮田 亮平 文化庁長官 ・青木 保 国立新美術館長 ・ジェニー・シーレイ グレイアイ・シアター・カンパニー芸術監督 ・東 ちづる 女優、一般社団法人Get in touch 理事長 ・日比野 克彦 アーティスト、東京藝術大学教授 ・森田 かずよ ダンサー、NPO法人ピースポット・ワンフォー理事長 ・山中 俊治 東京大学大学院情報学環教授 ・野澤 和弘 毎日新聞論説委員
-----	---

(登壇者情報更新(下線:更新情報))

ユースプログラム

次世代共創シンポジウム

次世代共創シンポジウムは、2020年に活躍が期待される大学生を中心とした次世代リーダーが集い、グローバル企業・行政機関・非営利組織等の多様なセクターで活躍する国内外の若手リーダーとともに、持続可能な社会の在り方について共に語り、新たなアイデアを共に創り上げる場です。

スポーツ・文化・経済・行政・市民社会の領域を超えた協働や、イニシアティブを生み出し、2020年、そしてその先の未来に向かう次世代リーダー発のアイデアを国内外に提案します。

日時	10月21日(金)18:30～22:00
会場	六本木アカデミーヒルズ
言語	原則英語
登壇者	・セドリック・デヴィラー 国際オリンピック委員会(IOC)エンゲージメントプログラム担当 ・ロザンヌ・ハガティ コミュニティ・ソリューションズ代表 ・クリストファー・アテゲカ Rides for Lives創業者兼CEO ・為末 大 オリンピアン、株式会社侍代表 ・アルベルト・アルマンノ The Good Lobby 創業者、HEC Paris教授 ・中村 俊裕 コペルニク共同創設者兼CEO ・エレニ・アントニアドウ ヨーロッパ・ヘルス・パラメント理事長、ヤング・グローバル・リーダー ・アレックス・ワイヤット Ray GenCEO、August Robotics創業者 CEO ・ジーナ・バデノック Ojos que Sienten創業者兼CEO ・エイプリル・リンネ シェアリングエコノミー リーダー・アドバイザー ・ダイアナ・ヴェルデ・ネト The Butterfly Mark、powered by Positive Luxury、創業者兼CEO ・土井 香苗 弁護士、ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表 ・高島 宏平 オイシック株式会社代表取締役CEO ・小林 正忠 楽天株式会社取締役常務執行役員、楽天Asia本社 社長

文化イベント

ディヴァイン・ダンス 三番叟 ～神秘域(かみひそみいき)～

古典芸能の枠を越えて第一線で活躍する狂言師・野村萬斎氏の出演、現代美術作家として幅広く活躍する杉本博司氏の構成・美術による「ディヴァイン・ダンス 三番叟 ～神秘域～」をBunkamuraにて上演します。時代とジャンルを超えた伝統芸能と現代美術の融合を新たな表現で世界に発信していきます。

日時	10月21日(金)19:00～20:00 (18:00開場)
会場	Bunkamura オーチャードホール
言語	日・英
登壇者	・野村 萬斎 狂言師 ・杉本 博司 現代美術作家

(新たに情報を追加したプログラム)

日本文化体験プログラム

日本文化体験プログラムでは、高円宮妃殿下御臨席のもと、海外CEO等を対象に遠州茶道宗家13世家元による呈茶が振る舞われます。茶の世界をより深く理解するため、国宝や国指定の重要美術品である茶器や遠州茶道宗家とゆかりのある茶室(転合庵)を専門家の解説付きで鑑賞します。また、東京国立博物館所蔵の高円宮コレクション(根付)もお楽しみいただきます。

日時 10月22日(土) 9:00～12:00

会場 東京国立博物館

文化会議 分科会(上映会)

バリアフリー映画上映会

障害のある方々が、文化的な作品、映画、演劇その他の文化的な活動を享受する機会を有し、また、劇場、映画館など文化的な公演が行われる場所を利用する機会を有するための措置を締約国はとることなどが障害者権利条約においてうたわれています。

文化芸術による社会包摂の取組の一環として、最新技術によるバリアフリー映画字幕及び音声ガイド※を用いることで、障害のある方々が不自由なく映画を鑑賞し、障害の有無にかかわらずあらゆる人々が共に楽しむことができる映画上映会を開催します。

※聴覚障害者の方は字幕が映し出されるメガネ型ウェアラブル機器を装着してもらい、また視覚障害者の方にはスマートフォン等の携帯端末において同期するアプリを使用してもらうことで、イヤホンからの音声ガイド視聴が可能になります。

日時 10月22日(土)10:00～13:00

会場 国立新美術館 3階講堂

言語 日本語 視覚・聴覚障害者対応

登壇者 未定

※プログラムは予告なく変更する場合があります